

令和5年度 岩手県立釜石高等学校経営計画（定時制）

校長：青木 裕信

1 校訓・教育目標	1 校訓 「文礼一如」 2 教育目標 「知・徳・体」を備え、調和の取れた人間形成 豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成 広い視野を持ち、社会に貢献する人材の育成	
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> ◦基礎からしっかり学び、確かな学力を身に付け、主体的に判断できる力を育てます。 ◦学校生活を通し、多様性を認め合い、他者を思いやることのできる心を涵養します。 ◦基本的生活習慣を確立し、社会人としてふさわしい教養を身に付けます。
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> ◦基礎学力の定着を目的とし、中学校段階からの学びなおしと高校での学習の基礎習得を中心とした授業を展開します。 ◦農業体験学習をはじめとした多様な体験学習を実践する中で、社会との関わりを学び、主体性や協働意識を育みます。 ◦総合的な探究の時間や進路学習をとおして、自己実現のための足掛かりになるよう学びを推進します。
	(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> ◦定時制でしっかりと学ぶことを希望し、こつこつと努力を積み重ねられる生徒。 ◦地域の人々や学校の仲間との生活をとおして、コミュニケーション能力を高めたいと考えている生徒。 ◦将来の夢や目標に向けて、学習や行事等の活動に積極的に取り組む姿勢のある生徒。
3 魅力化協働パートナー	学校関係者、地域関係者、定時制教育振興会、その他	
4 目 指 す 学 校 像	重点目標	達成指標
	ア 生徒が学習に積極的に取り組み、基礎学力を習得し、それを活用している	・参加態度や姿勢、取組を「良好」と答えた生徒の割合【80%】（授業アンケート）
	イ 生徒が体験学習を通し地域と交流して、コミュニケーション能力を発揮している	・体験学習の評価シートの評価が「A」の割合【60%】
	ウ 生徒が学校生活において自己肯定感を感じ、それを言語化している	・本校定時制に入学して良かったと答えた生徒の割合【80%以上】
	エ 生徒が就業体験を通し勤労観を身に付け、進路希望の実現を目指している	・アルバイトや就業体験を行った生徒の割合【80%以上】
	オ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる	・いじめの発見や予防に努めていると答えた生徒の割合【90%以上】（学校評価アンケート）
	(2) 取組方針	ア 基礎学力活用の場の設定 (ア) 落ち着いた学習環境の提供、基礎・基本の定着を目指した授業展開 (イ) 課題解決的な学習活動の導入 イ 生徒主体の体験学習の実施 (ア) 復興担い手育成事業を活用した体験学習の実施 (イ) 企画への生徒の参加 ウ 生徒の「自己決定」の機会を多く設定 (ア) 「失敗ありき」での教育活動のデザイン (イ) 振り返りの「共有」と「言語化」 エ 進路意識を高揚する機会を多く設定 (ア) アルバイト（就業）の支援と推奨、インターンシップの実施と支援 (イ) 進路講演会等の実施 オ 早期発見と解消に向けた適切な対処 (ア) 「学校いじめ防止基本方針」に基づいた取組とその改善 (イ) 「抱え込み」のない、「学校いじめ対策組織」を中心とした情報共有と組織対応